

相続税の修正申告書 (続)

○フリガナは、必ず記入してください。

フリガナ		財産を取得した人			財産を取得した人			
氏名		Ⓜ			Ⓜ			
個人番号又は法人番号		↓個人番号の記載に当たっては左端を空欄としここから記入してください。↓			↓個人番号の記載に当たっては左端を空欄としここから記入してください。↓			
生年月日		年 月 日 (年齢 歳)			年 月 日 (年齢 歳)			
住所 (電話番号)		〒 (- -)			〒 (- -)			
被相続人との続柄	職業							
取得原因		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与			相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与			
※整理番号		□□□□□□□□			□□□□□□□□			
区分		① 修正前の課税額	② 修正申告額	③ 修正する額 (②-①)	④ 修正前の課税額	⑤ 修正申告額	⑥ 修正する額 (⑤-④)	
課税価格の計算	取得財産の価額 (第11表③)	円	円	円	円	円	円	
	相続時精算課税適用財産の価額 (第11の2表1⑦)							
	債務及び葬式費用の金額 (第13表3⑦)							
	純資産価額 (①+②-③) (赤字のときは0)							
	純資産価額に加算される暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1④)							
	課税価格 (④+⑤) (1,000円未満切捨て)	,000	,000	,000	,000	,000	,000	
各人の算出税額の計算	法定相続人の数及び遺産に係る基礎控除額	/						
	相続税の総額	/						
	一般の場合 (⑩の場合を除く)	あん分割合 (各人の⑥) ⑧						
		算出税額 (⑦×各人の⑧) ⑨	円	円	円	円	円	円
	農地等納税猶予を受ける場合	算出税額 (第3表) ⑩						
	相続税額の2割加算が行われる場合 (第4表1⑥)	⑪	円	円	円	円	円	円
各人の納付・還付税額の計算	税額控除	暦年課税分の贈与税額控除額 (第4表の2②)	⑫					
		配偶者の税額軽減額 (第5表①又は②)	⑬					
		未成年者控除額 (第6表1②、③又は④)	⑭					
		障害者控除額 (第6表2②、③又は④)	⑮					
		相次相続控除額 (第7表⑬又は⑭)	⑯					
		外国税額控除額 (第8表1⑧)	⑰					
	計	⑱						
	差引 (⑱+⑩-⑲)又は (⑲+⑩-⑱) (赤字のときは0)	⑲						
	相続時精算課税分の贈与税額控除額 (第11の2表⑧)	⑳	00	00	00	00	00	
	医療法人持分税額控除額 (第8の4表2B)	㉑						
小計 (⑲-⑳-㉑)	㉒							
農地等納税猶予税額 (第8表2⑦)	㉓	00	00	00	00	00		
株式等納税猶予税額 (第8の2表2A)	㉔	00	00	00	00	00		
特例株式等納税猶予税額 (第8の2の2表2A)	㉕	00	00	00	00	00		
山林納税猶予税額 (第8の3表2⑧)	㉖	00	00	00	00	00		
医療法人持分納税猶予税額 (第8の4表2A)	㉗	00	00	00	00	00		
申告納税額 (⑲-⑳-㉓-㉔-㉕-㉖-㉗)	㉘	00	00	00	00	00		
申告期限までに納付すべき税額還付される額	㉙	△	△	△	△	△		

○この申告書は黒ボールペンで記入してください。

※の項目は記入する必要はありません。

第1表 (続) (平成30年分以降用)

(注) ②欄の金額が赤字となる場合は②欄の左端に△を付してください。なお、この場合で②欄の金額のうちに贈与税の外国税額控除額 (第11の2表⑨) があるときは②欄の金額については、「相続税の申告のしかた」を参照してください。

※ 年分		名簿番号		補完番号		補完番号	
検算印		管理		補完		管理	
		確認	<input type="checkbox"/>	確認	<input type="checkbox"/>	確認	<input type="checkbox"/>